

地域・社会課題へ環境をテーマに取り組む

1980年代 北欧
エコカルティエの始まり

2000年代 持続可能な都市政策の展開

欧州 環境 + 社会経済
共に重視
→ コンクール政策
・HQERプログラム

フランス
・都市連帯再生法(2000年)
・環境グルネル法(2009年)
・グルノーブル市 サック・ドウ・ボンヌ

環境
経済
社会 } 総合的
整備

2012年 地域の取組み → 国の取組み
国主導 エコカルティエ認証制度の成立
コンクール開催 / 地域ネットワーキング推進 等で普及

地域取組が先行
↓
国が制度整備

コンクール
ネットワーキング

認証の
普及



FRANCE
実証実験を経ず
いきなりスタート
フットワークの軽い
都市政策

JAPAN
実証→実装
と段階が
長い

「学校前通り整備」プロジェクト



学校前通りの
車両制限



道路交通法改正

環境に配慮した都市内の公共交通を整備

アンジェ市

- ・都市圏人口30万人の地方都市
- ・歩行者中心 + 公共交通が整備

環境を重視した
まちづくりの結果
↓
首都圏から地方へ
人口移動し活性化

迅速な都市政策実装の背景

- 歩行者の
安全最優先
- 幼少期からの
環境教育
- 環境保全への
税金使用の
社会的合意

まとめ

交通まちづくり
↓
街路の
空間論

移動

都市計画
↓
交通
計画

住宅
計画

小さなエリア改革
↓
都市全体の大改革